

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 足立 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○男女ともに、運動やスポーツに対して積極的である。</p> <p>○授業以外で運動やスポーツをする時間は、全国平均を上回っている。特に土日は全国平均を大きく上回っている。それは実技調査の結果と関連しているように考えられる。また「中学校に進学しても運動する時間を持ちたい」と答えた児童は、男女ともに全国平均を10%近く上回っており、運動に対する興味関心の高さが分かる。</p> <p>●運動習慣に関しては、男子と比べると女子の方が定着していない。</p> <p>●健康に関する意識調査では、男女ともに高ポイントであった。しかし、男子は睡眠、女子は食事を重要視していないことが分かる。特に女子の中には朝食を食べず、夕食も不定期という児童も数名いた。児童の実態について、保護者への情報提供や、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨など、今後も継続して進めていく。</p> <p>●体育の学習に関しても「足立スタンダード」が定着しつつある。男女ともに、楽しく体育の授業に取り組んでいる。しかし、めあての提示や話し合い活動の位置付けが定着できていない。今後、さらに「足立スタンダード」の内容の充実を図る必要がある。</p> <p>●家族の運動に関する意識は、平均値を少し上回る程度である。今後も引き続き、啓発活動に取り組む。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>○学習の始めに、準備運動を兼ね、「北九州市体力向上プログラム(準備運動編)」を活用し、授業の内容に合わせて運動を選んだり、児童の実態に合わせて高めたい運動を選んだりして、基礎的な体力の向上に取り組む。</p> <p>○ワークシート等を活用し、「話し合い活動」「書く活動」を取り入れる等、運動の特性に応じて、どのように課題解決を図るか個人や集団で「思考する」場面を意図的に設定する。</p> <p>○ホワイトボードを積極的に活用したり、運動カードを取り入れたりして、次の活動が視覚的に分かるような工夫を取り入れた。</p>

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>○年間を通して、中休みに「なわとびタイム」を設け、縦割りグループでの大なわ跳びを実施している。また、2学期と3学期に大なわ大会を実施し、友だちと運動する楽しさを味わわせたり、根気よく運動に取り組む態度が身に付くようにすることで、児童自らが運動の喜びと達成感を実感できるようにした。</p> <p>○運動委員会の児童を中心に、一輪車や竹馬、フラフープの貸し出しを積極的に行い、外で体を動かして遊ぶことを励行する。</p>
--